

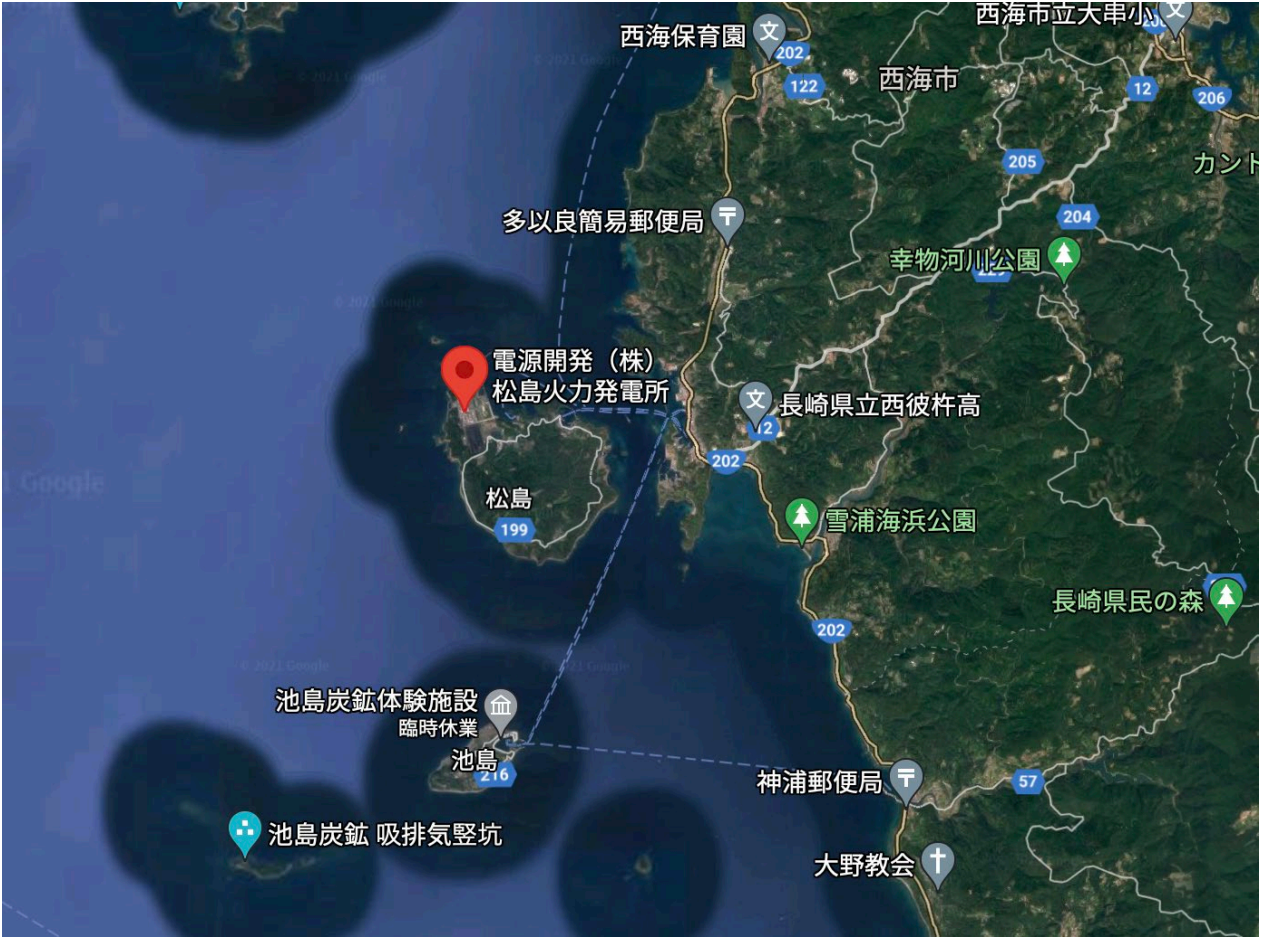
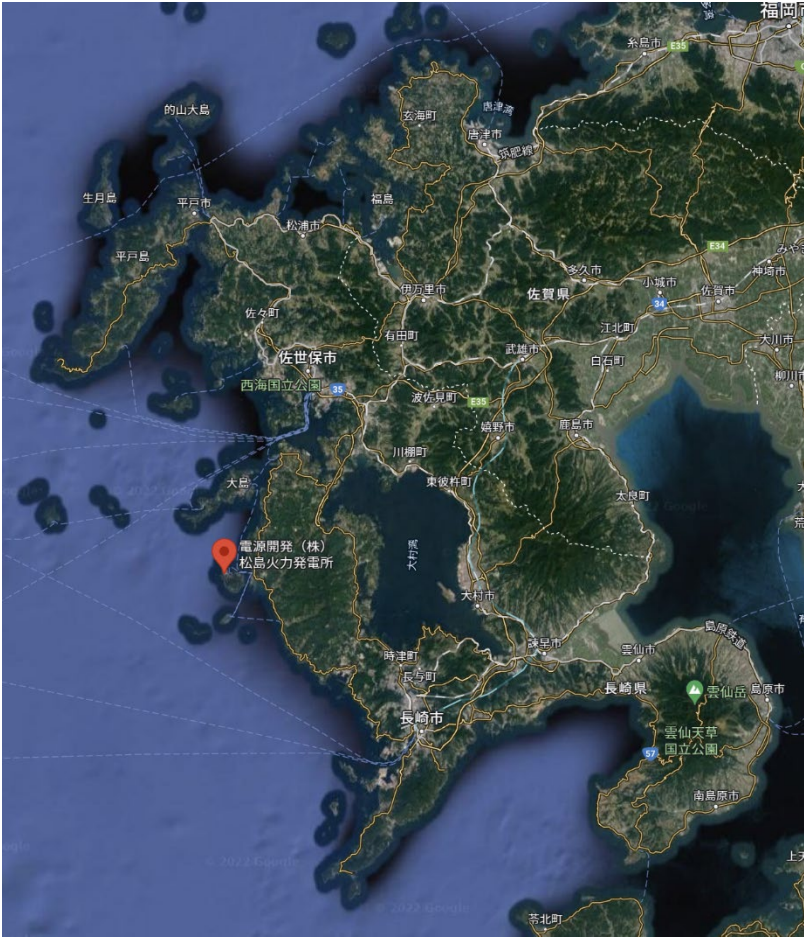
# GENESIS松島計画



NPO法人 気候ネットワーク

宮後 裕充

# 松島火力発電所の位置



# 松島火力発電所

運営会社	電源開発
最大出力	50万kW×2基 合計100万kW
運転開始	1981年
燃料種	石炭
発電方式	超臨界圧 (SC)
年間排出量	608万t-CO <sub>2</sub> ※ ※温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度 2017年度データより



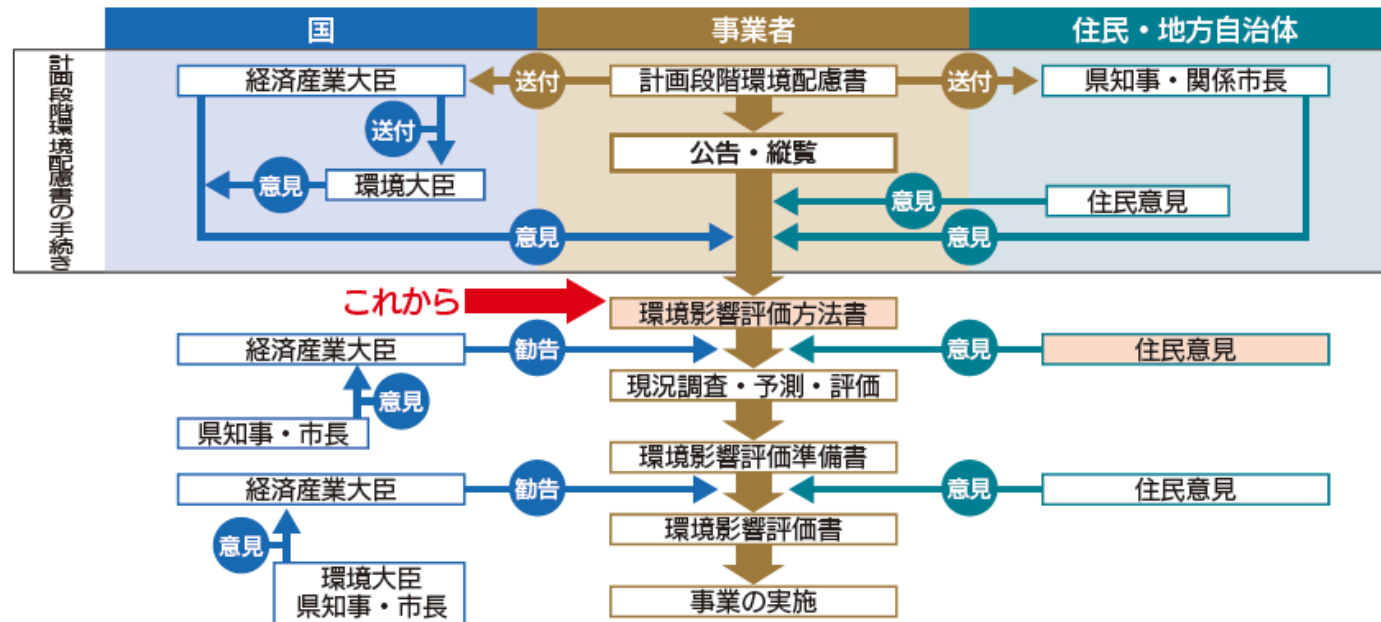
# GENESIS松島計画概要

## 石炭火力の「アップサイクル」

1. 既存の松島火力2号機に石炭ガス化設備等を付加する。
    - 石炭ガス化設備とガスタービンによる発電（約11万kW）
    - （排ガス）排熱回収ボイラーで蒸気を作り、既存設備の蒸気タービンに供給（約7万kW相当）
  2. 既存の石炭火力設備は残す。
    - 発電出力（排熱回収からの蒸気も併せて39万kW）
    - ガスタービンによる発電が停止する際には現状の50万kWまで上げることも検討中
- 1と2を併せて現状の松島火力2号機の50万kWの出力を維持する。
3. 将来的には事業環境に応じてバイオマス、アンモニア混焼やCCSを実施する。
    - 関連設備を設置する土地は敷地内に確保している。

# 計画の環境影響評価（環境アセス）の経過

- 2021年4月 電源開発、環境アセスの準備開始を発表
- 2021年9月 電源開発、配慮書の縦覧および意見募集開始  
→締め切りまでに855件の意見がJ-Powerに提出
- 2021年11月～12月 長崎県知事意見、環境大臣意見、経済産業大臣意見が公表  
→計画中止を求める意見は出されず。
- 2022年8月 電源開発、方法書の縦覧および意見募集開始



# GENESIS松島計画の主な問題点

1. 気候危機への対応として脱石炭に向かう国際合意を踏まえていない。
  - 国の目標：2030年温室効果ガス46%～削減（2013年度比）、2050年カーボンニュートラル
  - 国際合意：COP26 石炭フェーズダウン、G7 石炭火力のフェーズアウト、2035年の電源脱炭素化
  - 石炭ガス化設備等の導入で削減が見込まれる単位電力量当たり二酸化炭素排出量は、現状比で約10%でしかない。
2. アンモニア、バイオマス混焼やCCS等をいつ実施するか、そもそも出来るのかはわからない。
3. 実施時期がわからないのでこの計画が温室効果ガス、大気汚染物質の削減にいつ頃、どの位貢献するのかもわからない。

# 方法書への意見提出をお願いします！

- 本日の問題点の指摘について

<https://www.kiconet.org/info/press-release/2022-9-28/MatsushimaEIA2>

- 意見提出について（QRコード）
  - 郵送に際しての注意点や送付期限
  - オンライン意見投稿フォーム
  - 方法書へのリンク

<https://act-matsushima.jp/eia/>

